

動物園で アニマル ウェル フェアを 科学する

近年、動物園と大学が協力して研究を行うことが多くなりました。動物園は、行動研究の良いフィールドとなりえる一方で、飼育下の動物のウェルフェアに大きな影響を与えている可能性が高く特別な配慮が求められます。有意義な研究や実践を行うためには、より密接な研究者と動物園関係者間の協力や、ネットワーク作りなどが必要であると考えられます。今回のシンポジウムは、さまざまなバックグラウンドの人が集まり、動物園でのウェルフェア研究やその実践をより発展させるためにはどうすべきかを考える場にしたいと思っています。

入場無料

3月29日(金) 15:30 ~ 17:00

安田女子大学 7号館 7102室

問い合わせ先: sympo2012@jsaab.org

話題提供者

小倉匡俊

(京都大学野生動物研究センター・日本学術振興会)

動物園で科学する
- 研究の場としての動物園 -

山崎彩夏

(東京農工大学)

日本の動物園における
環境エンリッチメントの現状と課題
- SHAPE-Japan の設立報告とともに